

# 町の考え方を問う

# 一般質問

9月定例会では、町政全般へ8人の議員が12項目にわたる一般質問を行いました。なお、質問者及び質問項目は、左の表のとおりです。

掲載にあたっては紙面の都合上、質問内容、回答共に抜粋し、編集したものと なっておりますのでご了承ください。

- 小川 鶴雄 (P4)
    - ・大涌谷園地の再整備について
    - ☆「箱根ジオパーク」の取り組みについて
  - 石川 栄 (P4)
    - ☆新規職員採用について
    - ・電気自動車用急速充電器について
  - 村上 東司 (P5)
    - ☆災害復旧時の対応について
  - 山田 成宣 (P5)
    - ☆地域医療の整備について
  - 川端 祥介 (P5)
    - ☆箱根町の入湯税について
    - ・箱根町の観光振興対策について
  - 村野由紀子 (P6)
    - ・箱根町の保険推進事業について
    - ☆健康づくりの推進といじめや不登校について
  - 山田 和江 (P6)
    - ☆四期目に出馬表明した山口町長の政治姿勢を問う
  - 沖津 弘幸 (P6)
    - ☆町長の町政運営について
- 質問が複数ある議員については☆のついている方を掲載しています。

## 企画 「箱根ジオパーク」の取り組みについて

小川 鶴雄

**Q** 日本ジオパーク認定に向けてこれまでどのような取り組みを行ってきたのか。

**A** 平成20年2月に小田原・箱根ジオパーク推進連絡会を設立し、平成23年5月に、「箱根ジオパーク推進協議会」を設立した。

今年に入ってから、見所となる41か所の「ジオサイト」を決定した後、日本ジオパーク認定に向けた申請書の提出を行い、審査を受け、結果報告を待つという状況。

周知については出前授業、企画展等。また箱根ジオパーク推進協議会公式ホームページを公開したほか、各市町の広報紙への箱根ジオパーク関連記事の掲載等を実施し、ジオパーク活動の趣旨やその魅力を伝えていく。

**Q** ジオサイトの見学方法、整備は

**A** 箱根町内のジオサイトは21か所ありそ

の中で民有地内のジオサイトは、湯本の「玉簾の滝」を始め8か所。土地所有者に箱根ジオパーク構想の趣旨を説明し、承諾を得ている。見学方法については、現在の導線を活かすことを前提に、具体の調整を図っている。環境整備については、ジオガイドや地元自治

会、ボランティア等の協力をいただきながらジオサイト保全に対する意識促進を進めていきたい。

**Q** 世界ジオパークの認定に向けて

**A** 日本ジオパークは4年に一度の再審査があり、その改善点や課題を解決しつつ、ジオパーク活動を継続しなければならぬ。再審査までの4年の間に世界ジオパーク認定に向けた、ソフト、ハード両面の体制を強化していき



玉簾の滝

## 総務 新規職員採用について

石川 栄

**Q** 新規職員採用には箱根町住民応募者の採用を重視願いたい。有事の対応、地域活動との連携等を考えた場合、町内職員採用は急務と考える。現在までの第1次教養試験から人物重視面接重視に切り換えた採用改革ができないか

**A** 近隣の市等も近年、人物・面接重視を強調しており公務員試験は難しいというイメージの払拭をしてきている。当町としてもトータルバランスに優れた実務に必要な人物採用に努めており、明日の箱根町を託す人材の採用に最大限の努力をしてゆきたい。

**Q** 現在の職員の町内外別の人数と3年間の新規職員応募者の人数と採用人数について

**A** 現在の職員389名、うち、町外259名、町内130名  
 応募者、過去3年間の町内外の人数  
 平成21年度申込者130名、町外123名、町内7名。採用

数、町外10名、町内4名。  
 平成22年申込者数251名、町外235名、町内16名。採用数、町外12名、町内6名。  
 平成23年申込者数245名、町外26名、町内19名。採用数、町外13名、町内3名。

**Q** 町内新規応募者が、大変少ないが原因について

**A** 町内にも意欲的な民間企業もたくさんあり箱根町役場を就職先と決める選択肢を考えていないのではないかと考えている。また合格の難易度が高いと考えている向きもあると考えている。今後少しでも多くの方に受験して頂くよう努力してゆきたい。

